

わたしたちのまちの

誤嚥性肺炎

を減らしたい！

誤嚥性肺炎とは？

物を飲み込む働きを「嚥下機能」、口から食道へ入るべきものが気管に入ってしまうことを「誤嚥」と言います。

水や食べ物、胃食道逆流物などが誤嚥によって肺に入ってしまう、細菌が繁殖して炎症が起きた状態が誤嚥性肺炎です。

誤嚥性肺炎は嚥下機能が低下した高齢者や脳梗塞後遺症、パーキンソン病などの神経疾患や寝たきりの患者に多く発症します。

誤嚥性肺炎の症状は？

肺炎の典型的な症状として、発熱や咳、濃い痰が多くなったり呼吸が苦しくなったりなどの症状があげられます。誤嚥性肺炎の場合は、その他に次の症状に注意が必要です。

- 元気がない
- 食事の時間が長くなった
- 食後に疲れてぐったりする
- ぼーっとすることが多い
- 食べ物飲み込みめない

高齢者の場合、典型的な肺炎の症状が出ない場合もあります。

なぜ高齢者に多いのか

高齢による嚥下機能の低下や神経疾患などで寝たきりの状態では、口の中が清潔に保てず、肺炎の原因となる細菌が口の中で繁殖し、誤嚥性肺炎を発症します。

また栄養状態の不良や免疫機能の低下なども発症に関与します。

誤嚥性肺炎減らそう隊 発足

平成27年度、誤嚥性肺炎で当院に入院した患者の半数以上が、自宅への退院が困難になっていることや、誤嚥性肺炎が重症化したことにより入院が長期化するケースが多いことが分かりました。地域医療支援室では、高齢化が進む中で誤嚥性肺炎への対策が重要と考え、平成28年4月に多職種チーム「誤嚥性肺炎減らそう隊」を立ち上げ活動を始めました。

現在では活動に賛同した、すずかけヘルスケアホスピタルと協働で啓発活動（講義・研修）を行っています。

“誤嚥性肺炎減らそう隊”の活動実績

- 磐田市立総合病院
研修回数 18回 参加者 608人
- すずかけヘルスケアホスピタル
研修回数 10回 参加者 178人

磐田市立総合病院から



地域医療連携担当看護師長

佐藤 明美 さん

私たちの願いは「私たちのまちの誤嚥性肺炎を減らしたい！」です。磐田市には私たち「誤嚥性肺炎減らそう隊」がいます。

私たちの活動を多くの市民の方知ってもらい、出前講座を活用していただきたいです。

photograph

“誤嚥性肺炎減らそう隊”

“誤嚥性肺炎減らそう隊”では、誤嚥性肺炎について正しい知識を持ってもらうため、地域に出向いて研修(講義・実技)を行っています。食事の形態や摂取、口腔ケアの必要性などについて専門の職員から実技を交えて学ぶことができます。

看護師、言語聴覚士、歯科衛生士からなる全国的にも珍しい多職種チームならではの特性を生かした研修を、ぜひ受講してみてください。

※研修の申し込みは磐田市立総合病院ホームページで受け付けています



▲“誤嚥性肺炎減らそう隊”の皆さん

▶パンフレット(研修用)



▲実技研修の様子



▲地域交流センターでの研修の様子

私たち歯科衛生士は、口腔ケアが誤嚥性肺炎予防につながるということを伝えていきます。口腔ケアというと、もちろん歯磨きも重要ですが、歯医者さんで専門的なクリーニングや正しい歯磨き指導を受けること、合った義歯を入れること、適切な歯科治療を受けることも含まれます。

毎日の歯磨きをしっかりとすること、かかりつけの歯科医院を持って定期的に受診することで、安全においしく食べられるお口づくりを行っていきましょう。

歯科衛生士の仕事を知ってもらえるいい機会になりました！

磐田市立総合病院
歯科衛生士
増田 美紅 さん



interview

減らそう隊の活動に「やりがい」を感じています！

すずかけヘルスケアホスピタル
言語聴覚士
片山 弘紀 さん



“誤嚥性肺炎減らそう隊”の活動では、他施設で働いている介護職員や保健師、市民の皆さんと接する中で、病院で働いているだけでは気が付かない新しい発見や刺激をもらい、日々のリハビリ業務に生かすことができます。

今後、病院から地域に出向き、皆さんに『誤嚥性肺炎』とリハビリの職種の中では、ちょっとぴりマイナーな『言語聴覚士』についても知っていただけるように努力していきます。